

(一般社団法人)

isj 日本画像学会

2018年度表彰

功労賞 ● 川本広行、細矢雅弘、稲垣敏彦
論文賞 ● 長谷部恵、前後武志、浜崎聡信、
本杉友佳里、石原拓真
研究奨励賞 ● 横山優樹、塩飽黎、佐野翔一
会長特賞 ● 中島一浩
フェロー ● 中村一希
技術研究賞 ● 門永雅史、柴田博仁
日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞 ●
矢口博之



2019年7月2日(火)
千葉大学 けやき会館
大ホール

☆功労賞(第24回) 3件

川本広行(かわもと ひろゆき)(早稲田大学)



受賞理由：2004年より、10年間にわたり日本画像学会の理事を務めるとともに、2005年にはシミュレーション技術部会を立ち上げ主査を3年間務めた。年一回の講習会を定例化するなど、本技術の高度化と普及に多大な貢献を果たした。

細矢雅弘(ほそや まさひろ)(元東芝)



受賞理由：長期にわたって日本画像学会の理事を務めるとともに財務委員長として4年間わたり学会財務の執行を推進した。さらに、技術委員会電子写真技術部会の主査としても、学会に貢献した。

稲垣敏彦(いながき としひこ)(元富士ゼロックス)



受賞理由：1990年より、17年間にわたって技術委員会画像評価技術部会の主査を務め、当該分野の牽引者として技術の高度化や普及に尽力した。特に、標準チャートの作成や、オフィス機器分野における画質測定の国際標準化活動を推進した多大な貢献がある。

☆論文賞(第33回) 1件

「Verification of Cockling Reduction Effect on Offset-Coated Paper by Drying Technology Using Laser Exposure and Consideration on Cockling Mechanism by FEM Simulation Modified Thermal Expansion Model」

日本画像学会誌 第57巻 第6号(通巻236号) pp.692-699 (2018)

長谷部 恵(はせべ さとし), 本杉 友佳里(もとすぎ ゆりか)
(富士ゼロックス株式会社 研究技術開発本部 テクノロジーデリバリーセンター)
前後 武志(ぜんご たけし), 浜崎 聡信(はまざき としのぶ), 石原 拓真(いしはら たくま)
(富士ゼロックス株式会社 研究技術開発本部 基盤技術研究所)

受賞理由：インクジェット紙の乾燥プロセス設計と制御は、これまでも多くの取り組みがなされている重要領域であり、インクジェットの高速化による産業応用の発展に伴い、より一層重要視されている。本論文は、オフセットコート紙の乾燥時に生じる“波打ち”の低減へ向け、富士ゼロックス社が開発したレーザー照射による用紙乾燥手法の優位性の評価と、用紙の波うちに関するシミュレーションモデルの開発・実測値との比較検証に関する研究報告である。インクジェット紙の波打ちに関する定量的なシミュレーション手法は、用紙の乾燥プロセス設計に新たな指針を与えることが期待される。以上、画像関連分野研究としての新規性・重要性およびその発展性により、日本画像学会論文賞に値すると評価する。



長谷部 恵 (Satoshi HASEBE)



本杉友佳里 (Yukari MOTOSUGI)



前後 武志 (Takeshi ZENGO)



浜崎聡信 (Toshinobu HAMAZAKI)



石原拓真 (Takuma ISHIHARA)

☆研究奨励賞(第26回) 3件

高濃度接触現像系の液体现像方式における揮発系液体トナーの適用 横山優樹(よこやま ゆうき)(富士ゼロックス)



受賞理由：揮発系液体现像剤による高濃度接触現像系の液体现像方式に関して、液体现像剤供給部の機能設計を行っている。液体现像剤の乾燥や、低粘度化に伴うリビング起因ディフェクト、現像効率、カブリなどの複数の課題を両立する現像パラメータ設計を行い、印刷速度 60m/minでオフセット印刷同等の高画質を実証した。

インクジェット印刷電極を有する有機集積回路の乳酸センサ応用塩飽 黎 (しわく れい)(山形大学)



受賞理由：材料科学・界面科学・物理学的な観点からの取り組みによって達成した有機薄膜トランジスタの高性能化と特性の均一化を活かし、印刷有機集積回路を代謝物質の定量に必要なアナログ回路へ応用した。インクジェット印刷およびディスペンサ印刷を用いて作製された乳酸センサにおいて従来の電気化学測定機器と同等の機能安定性を実現し、印刷有機集積回路のウェアラブルセンサデバイスへの応用の可能性を実証した。

量子ドット発光ダイオードの作製と特性評価 佐野翔一(さの しょういち)(大阪府立大学)



受賞理由：市販のコア・シェル状量子ドットを発光材料とした塗布型QLEDを作製し、その電荷輸送特性を評価した報告である。デバイスシミュレーションを用いて正孔注入機構についても考察を行っており、今まで不明であったQLEDの動作機構を解明している。

☆会長特賞(第18回) 1件

中島一浩 (なかじま かずひろ)(キャノン)



受賞理由:日本画像学会の創立60周年にあたり、この1年を飾る様々なイベントを60周年記念事業推進委員長として企画し、成功に導いた。

☆フェロー(第6回) 1件

中村一希 (なかむら かずき) (千葉大学)



受賞理由：新規表示関連材料開発を通じ、画像技術の発展に大きく寄与するとともに、学会誌編集委員長として本学会の発展に多大な貢献を果たした。

☆技術研究賞(第3回) 2件

技術：『電子写真の帯電・転写プロセスのシミュレーション技術の開発』

株式会社リコー
門永雅史（かどなが まさみ）



門永雅史

受賞理由：電子写真プロセスにおける放電が関与するプロセス（帯電・転写）において、一般座標を用いた数値計算技術を取り込み、感光体やローラ形状、物体の移動を考慮しながら放電現象を解析するなどの研究を行ってきた。さらに、電界と粉体の強連成解析による転写プロセスでの異常画像解析、3次元並列電界計算による転写チリ解析やトナー付着力解析などは、いずれも独創的であり、その成果は、電子写真技術者に有用な知見となっている。

技術：『メディアの操作性に注目した電子デバイスの開発』

富士ゼロックス
柴田博仁（しばた ひろひと）



受賞理由：メディアの操作性に注目し、操作性の良し悪しが読みのパフォーマンスに大きな影響を与えることを示すことにより、読むためのメディアとしては表示特性だけでなく、操作性（扱いやすさ）も重要であるという新しい研究指針を確立した。さらに、このような知見を基に、読みの最中に行われる多様な行為の操作性を重視した読むためのデバイスのあるべき姿を提唱し、オフィス業務での利用を想定した文書リーダーの開発も行った。

☆日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞
(第14回) 1件

矢口博之 (やぐち ひろゆき) (東京電機大学)

研究題目: 情報の取得, 伝達, 創造に役立つ知識の発見とそれを応用
した情報システムの開発



受賞理由: 電子書籍を含むプリントメディアやフォントのユーザビリティ評価, エディトリアルデザインと情報伝達効率の関連およびこれらを複合した課題を研究対象とし, 特に文字の視認性評価法に関する研究成果は, ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」の開発プロジェクトにおいて重要な役割を果たした。「みんなの文字」は, 保険・金融関係, 公共通知物をはじめ様々な分野で利用され, 大きな波及効果がある。

受賞者リスト

学会賞

1993 井上英一
菊池真一
1994 三川 禮
1995 小門 宏
坂田俊文
1996 河村孝夫
1997 木原信敏
1998 本庄 知
1999 栗田隆治
2000 遠藤一朗
2001 高橋恭介
2002 横山正明
2003 碓井 稔
平倉浩治
2004 村山徹郎
2005 水口 仁
2006 竹内 学
2007 細矢雅弘
2008 半那純一
2009 星野勝義
2010 北村孝司
2012 川本広行
2013 面谷 信
2016 内藤裕義

功労賞

1993 木脇久智
近藤厚實
1994 窪田啓次郎
坂巻資敏
松井 茂
1995 今村舜仁
中村堅一
1996 柿井俊一郎
江田研一
1997 野田栄三
山本 隆
1998 昼間健治
山口隆司
1999 高島祐二
土屋元彦
田嶋紀雄
2000 情野國城
2001 本庄 知
2002 滝口孝一
2003 小口寿彦
2004 大野 信
北村孝司
木村正利
横山正明
2005 鈴木 明
鈴木弘治
高橋 通
星野坦之
2007 中山喜萬
深瀬康司
水口 仁
竹内 学
中村俊治
2009 五十嵐 明
正道寺 勉
富樫光夫
2010 平倉浩治
岡 建樹
2012 山崎 弘
大西 勝
2013 中居仁司

2014 阿部隆夫
緒方信康
伊藤 昇
2016 松木 眞
堀田吉彦
2017 伊藤哲也
永瀬幸雄
北久保茂

会長特賞

2000 羽根田 哲
2001 情野國城
Min-Kai Tse
2002 安達春夫
2003 平原修三
安達昭三
2004 金 栄順
上原利夫
2005 安藤祐二郎
金 銀慶
稲垣敏彦
緒方信康
2007 武田布千雄
中島淳三
Inan Chen
2008 板谷正彦
2009 木村正利
今井 力
2010 長山智男
2011 長谷部 恵
2012 鶴岡亮一
2013 酒井真理
神野文夫
竹内達夫
2014 北岡義隆
2016 深瀬康司
2017 三矢輝章
大嶽英宗
中山信行

研究奨励賞

1984 武田布千雄
1985 梨木恵一
1986 高橋隆一
1987 笠井利博
1988 小田 元
佐々木幸雄
山本 肇
1989 小寺宏暉
柳田和彦
1990 細矢雅弘
松井乃里恵
山口康浩
1991 面谷 信
田中俊春
弘重祐司
1992 上原康博
松井利一
1993 赤木秀行
園田泰子
堀田吉彦
1994 梅田 実
古川和彦
村井和昌
1995 天野哲也
勝目 正
古谷信正

1996 長山智男
平本昌宏
松本卓士
1997 小谷野 武
平川弘幸
山口幸生
1998 中山信行
李 源涉
1999 久保田哲行
趙 国来
福本 宏
2000 原田陽雄
高橋朋子
2001 金澤祥雄
水口由紀子
2002 平林 純
村本秀也
2003 町田義則
長山智男
大石亮太
2004 中嶋道也
紅林良之
真常 泰
2005 春原聖司
藤本慎也
2006 田中俊介
坂本 祥
2007 大野 玲
長山智男
伊藤めぐみ
2008 遠藤 寿
中川靖子
木内 豊
井上園美
田中里美
2010 由井悠基
西浦美都子
2011 井辻健明
斎藤和広
渡辺 壮
2012 青野博之
江口弘樹
八田 達
2013 佐竹まどか
田中孝幸
坪井彩子
2014 飯野裕明
安藤正登
楠見高史
2015 Kazuki Nakamura
Yukihiro Hatae
高木謙一郎
2016 高橋良輔
飯野裕明
水戸川輝大
2017 浜本貴紀
大矢貴史
塩野郁弥

名誉会員

2001 井上英一
近藤厚実
窪田啓次郎
三川 禮
坂田俊文
2002 小門 宏
今村舜二
2003 河村孝夫
江田研一
2004 高橋恭介
2008 横山正明
2011 田嶋紀雄
高橋 通
2012 平倉浩治
北村孝司
2013 水口 仁
中山喜萬
2016 半那純一

フェロー

2013 上原利夫
上原康博
面谷 信
川本広行
内藤裕義
西 真一
星野勝義
堀田吉彦
2014 半那純一
小林範久
長山智男
2015 中山信行
酒井真理
2016 鈴木千秋
平林 純
寺尾博年
2017 前田秀一

日本画像学会コニカミルタ 研究奨励賞

2005 山口留美子
2006 谷中一寿
2007 水口 仁
2008 渡邊敏行・平田修造
2009 小林範久
2010 面谷 信
2011 関谷 毅
2012 梅津信二郎
2013 藪 浩
2014 並木則和
2015 長谷川靖哉
2016 田川義之
2017 江良正直

日本画像学会コニカミルタ 研究賞

2005 藤本慎也
2006 坂本 祥
2007 土井孝次
2008 遠藤 寿
2009 井上園美
2010 浅井敏明
2011 井辻健明

論文賞

- 1977 本庄 知、田口誠一
1981 高橋 通、細野長徳、神辺純一郎、豊野 勉
1983 下木原 滋、加藤義明、板倉良介、横山正明、三川 礼、高島祐二、石田英輔、粒崎 繁、弓場上恵一、下間 亘
1985 河村尚登、門脇秀次郎、北島信夫
1987 武田布千雄、坂本康治、小林一雄
1989 寺尾和夫、稲葉 繁、伊藤健介
1991 松井乃里恵、岡 孝造、稲葉義弘
1993 細矢雅弘、斎藤三長、佐々木幸雄、木村正利、中島淳三
1994 池側彰仁、後藤 浩、岩佐英二、江ノ口祐次
1995 岩田尚貴、鈴木弘治、西土和宏、沢田 彰
1996 村井和昌、小勝 斉、喜多伸児
1997 本間寿一、横山正明
1998 保坂靖夫、中尾英之
1999 宮坂 徹、山本雅志、島田 昭
2000 水口 仁、遠藤彩映、松本真哉、平林 純、高橋 通
2001 情野國城、弓削静雄、上村正雄、船山康弘、堀健志、吉井朋幸、上 藪 勉
2002 渡辺 崇、近内健護、星野坦之
2003 小寺宏暉
2004 水口 仁、今永俊治
2005 真常 泰、八木 均、高橋正樹、石井浩一、高須 勲、細矢雅弘、牧野崇史、井村康朗、日達昭夫、岩田昭平、水口 仁
2006 物部祐亮、山下春生、黒沢俊晴、小寺宏暉、藤山高広、杉本賢一、関口未散
2007 面谷 信、小島 聡
2008 藤本慎也、前田博己、鶴岡美秋、中山健一、横山正明、岡田久雄、竹内 学
2009 情野國城、平原秀明、小沼崇明、吉田一郎、海江田省三、松坂修二、白井 聖、細尾康元、安田正俊
2010 西浦美都子
2011 尾崎敬二
2012 瀬尾 学、塚本武雄、法兼義浩
2013 村山雄亮、井手亜里、須原浩之
2014 坪井彩子、中村一希、小林範久
2015 Takayuki SHODA、Qi GAO、Akiteru FUJII
2016 Ryosuke TAKAHASHI、Nobuyuki HIROOKA、Tomoyuki ITO、Nobuyuki NAKAYAMA、Hiroyuki WATANABE、Hiroshi MATAKI、Seiichi INOUE
2017 原勝志、金子卓巳、柳内智和、

技術賞

- 1987 キヤノン(株) OPCとジャンピング現象を用いたカートリッジシステム、ミノルタカメラ(株) バインダ型小粒径キャリアを用いた現像システム(マイクロネーミング方式)、(株)リコー 高感度積層型OPC感光体の開発
1991 キヤノン(株) 帯電ローラ/転写ローラシステムの開発、富士ゼロックス(株) 1パス2カラー電子写真プロセス技術、ミノルタカメラ(株) レーザ強度変調画像再現システムの開発
1992 キヤノン(株) ウエイトレス熱定着システムの開発、富士ゼロックス(株) 高画質デジタルカラーゼログラフィター技術、(株)リコー 4ドラムデジタルカラー電子写真システム
1993 日立工機(株) 高速レーザービームプリンタ用半導体レーザー光学系の開発、(株)リコー 省スペース高画質デジタルフルカラーPPCの開発
1994 富士写真フイルム(株) TA方式フルカラーハードコピーシステムの開発、松下電器(株) 感光体内部磁石を応用した小型1成分現像方法、(株)リコー 高分子/低分子複合型熱可逆記録材料の開発
1995 セイコーエプソン(株) Mach-Jet技術の開発、富士ゼロックス(株) ハイライトを重視した新規スクリーン技術“HIEST”、ミノルタ(株) ブックスキャナにおける歪補正技術
1996 アルプス電気(株) 高精細600dpi溶解熱転写印刷技術、(株)東芝、(株)テック 一成分非磁性現象を用いたクリーナレスプロセスの開発
1997 富士ゼロックス(株) 高精度タンデム・カラー・レジストレーション技術、日立工機㈱ $MnFe^2+$ 斜め走査技術による超高速レーザープリンタ
1998 沖電気工業(株) 1200 dpi 高発光効率 LED ヘッド、富士ゼロックス(株) 高精度カラーマッチング技術(フレキシブルGCR、3D-ACCT)、山梨電子工業(株) 有機感光体の光感度制御技術
1999 キヤノン(株) デジタルフルカラー用重合トナーの実用化、富士ゼロックス(株) Color Laser Wind 3310「高画質化技術」、松下電器産業(株) 消耗品をオールインワンカートリッジ化したカラーレーザープリンタ
2000 京セラミタ ㈱ 電子写真OPC用高性能電子輸送材料の開発、富士ゼロックス㈱ 高画質フルカラープリンタ・複合機 DocuColor 1250/1255シリーズの開発
2001 沖デジタルイメージング ㈱ 高速高密度1200dpiLEDプリントヘッド、富士ゼロックス ㈱ オンデマンドカラープリンティングシステムColorDocuTech60の開発
2002 富士ゼロックス ㈱ 高画質と低環境負荷を両立する乳化凝集法トナー(EAトナー)の技術開発、㈱リコー 高速カラーレーザープリンタIPS10 Color 8000/8100シリーズの開発、キヤノン(株) 注入帯電クリーナレスシステム
2003 キヤノン(株) カラーIH(電磁誘導加熱) 定着方式の開発、東芝テック(株) 電磁誘導加熱による定着器の開発、京セラミタ ㈱ 世界最小カラータンデムプリンタFS-5016Nの開発
2004 富士ゼロックス株式会社「面発光VCSELを用いた2400dpiレーザー露光装置の開発」、株式会社リコー「電気二重層キャパシタ補助電源による省エネ定着技術」
2005 富士ゼロックス株式会社「冷却分離による高画質定着装置MACSの開発」、株式会社東芝「消せるトナー「e-blue™」の開発」
2006 パナソニックコミュニケーションズ株式会社「カラーIH定着器の加熱制御技術」、花王株式会社「新規粉砕法による高速高画質オイルレス対応ポリエステルトナー」

- 2007 京セラミタ株式会社「エコロジー対応A3カラータンデムMFP KM-C4035Eシリーズ機の開発」、株式会社アルバック・コーポレートセンター「独立分散金属ナノ粒子インクを用いたインクジェット印刷による導電膜形成」
- 2008 富士ゼロックス株式会社「自己走査型LEDを用いた1200dpiLEDカラー複合機の開発」
キヤノン株式会社「透明トナーによる電子写真画像表現多様化への挑戦 imagePRESS C1+」
- 2009 アルプス電気株式会社「1バスフルカラーダイレクトサーマル記録システム (ZINK) の実用化」
- 2010 富士ゼロックス (株) 「新規EA-Ecoトナーの開発」、プリヂェストン (株) 「電子粉流体を用いた高速応答型電子ペーパー「AeroBee」」
- 2011 キヤノン株式会社「ワンパスフォト印刷を実現したDreamLabo 5000の技術」、コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社「鮮やかな色再現でVividな価値を提供することに挑戦したハイクロマトナーの開発」、セイコーエプソン株式会社「中空粒子を用いた水性白色インク搭載のインクジェットプリンタ」
- 2012 株式会社リコー「リライタブルレザシステムの開発」、株式会社SIJテクノロジー「スーパーインクジェット技術の開発と実用化」、富士ゼロックス株式会社「プロダクションプリンタColor1000Press用インライン画像センサの開発」
- 2013 東芝テック株式会社「Loops (用紙リユースシステム)」、株式会社リコー「AC転写技術」、三菱製紙株式会社「プロダクションインクジェットプリンター用コート紙「SWORD iJET」の開発」
- 2014 富士フイルム株式会社「インクジェットデジタル印刷機JetPress720シリーズの開発」、綜研化学株式会社、大日本印刷株式会社「ツイストボール型電子ペーパーの商品化」、富士ゼロックス株式会社「高信頼ロングライフゼログラフィードラムユニットの開発」
- 2015 セイコーエプソン株式会社「薄膜ピエゾ技術、Si-MEMS技術を融合させたPrecisionCoreテクノロジーの開発」、ソニー株式会社、E Ink Japan株式会社「A4フレキシブル電子ペーパーを用いたデジタルペーパーの開発」、富士ゼロックス株式会社「電子写真用 金銀メタリックトナーの開発」
- 2016 三菱製紙株式会社「銀ナノ粒子インクと多孔質ハライド含有ペーパーによる焼成不要な導電性パターン形成技術」
- 2017 コニカミノルタ株式会社「新規UV硬化インクとハーフトーン・パターンニングによる高速・高画質形成技術」

技術研究賞

- 2013 平林 純
- 2015 八代 徹



【2018年度選奨委員会委員リスト】

委員長 内藤裕義* (大阪府立大学)
委員 面谷 信* (会長、東海大学)、佐藤利文 (副会長、技術委員長、東京工芸大学)、
三矢 輝章 (副会長、リコー)、金本成一 (ICJ Fall実行委員長、プラザ工業)、
長山智男* (広報委員長、リコー)、中村一希 (編集委員長、千葉大学)、
服部好弘* (財務委員長、コニカミノルタ)
上原利夫* (日本トレック)、上原康博* (元富士ゼロックス)、川本広行* (早稲田大学)、
小林範久* (千葉大学)、酒井真理* (東京大学)、鈴木千秋* (富士ゼロックス)、
寺尾博年* (アルプス電気)、中山信行* (富士ゼロックス)、西 真一* (コニカミノルタ)、
半那純一* (東京工業大学)、平林 純* (キヤノン)、星野勝義* (千葉大学)、
堀田吉彦* (リコー)、前田秀一* (東海大学)

(* : フェロー委員)